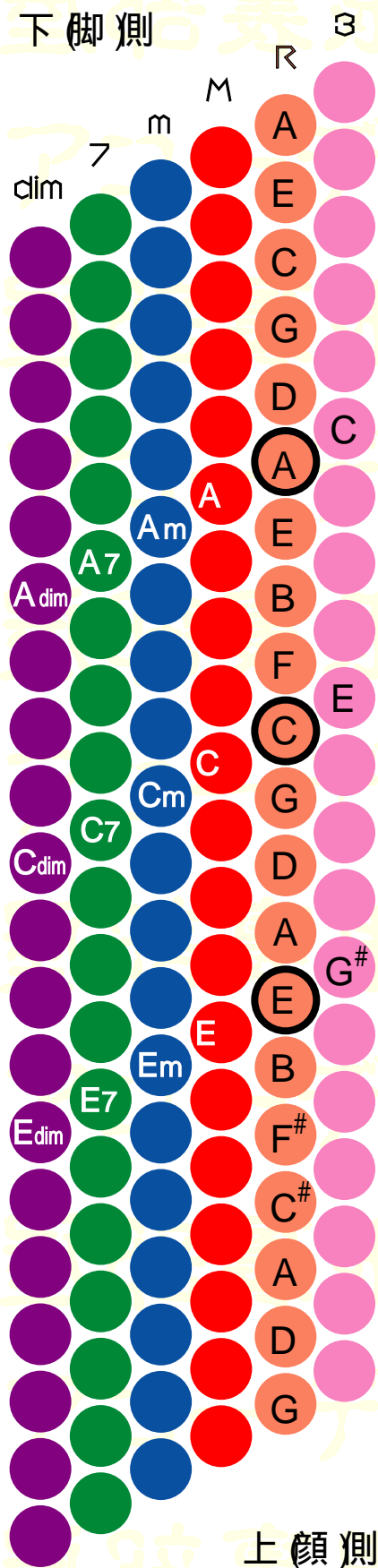


左手側ボタンの配列一覧表



楽器の中央 (蛇腹側) に近い方から順に

例目 「サード・ベース」 (Third Bass)

教則本によっては、「対位ベース」 (Counter Bass) と書かれていることが多いのですが、「ルート・ベース」 (2列目) の音から数えて、長三度の音程 (Major 3rd.) に位置するので、ここではこの呼び方を使います。このボタンを演奏する場合には、低音部譜表の音符付近 (直上の場合が多い) に、何らかの記号 (3, -, ,, etc.) を付加しています。また、オン・コード (分数コード) のコード・ネーム (ex. Con³ や C/E) が記譜されている場合に、「サード・ベース」は大変重宝します。

例目 「ルート・ベース」 (Root Bass)

教則本によっては、「基音ベース」 (Fundamental Bass) と書かれていることが多いのですが、基本形和音の根音 (Root) にあたる音なので、ここではこの呼び方を使います。このボタンを演奏する場合には、低音部譜表の第三線上「レ」 (「レ#」も含む) 以下に記譜されます。

例目 「メジャー・コード」 (Major Chords)

長三和音を発するボタンです。
ex. 中央ド (太線マル囲) の列ボタンを押さえると、(ド)・(ミ)・(ソ) の和音を発します。
このボタンを演奏する場合には、低音部譜表の第三線上「ミ」 (「ミ」も含む) 以上に記譜されます。

例目 「マイナー・コード」 (Minor Chords)

短三和音を発するボタンです。
ex. 中央ド (太線マル囲) の列Gボタンを押さえると、(ド)・(ミ)・(ソ) の和音を発します。
このボタンを演奏する場合には、低音部譜表の第三線上「ミ」 (「ミ」も含む) 以上に記譜され、音符付近 (直上の場合が多い) に、「m」 (ごく希に「M」) と付加しています。

例目 「セブンス・コード」 (Seventh Chords)

属七和音を発するボタンです。
ex. 中央ド (太線マル囲) の列C7ボタンを押さえると、(ド)・(ミ)・(ソ)・(シ) の和音を発します。
このボタンを演奏する場合には、低音部譜表の第三線上「ミ」 (「ミ」も含む) 以上に記譜され、音符付近 (直上の場合が多い) に、「7」と付加しています。

例目 「ディミニッシュ (7th) コード」 (Dim. Seventh Chords)

減七和音を発するボタンです。
ex. 中央ド (太線マル囲) の列Cdimボタンを押さえると、(ド)・(ミ)・(ソ)・(シ) の和音を発します。
このボタンを演奏する場合には、低音部譜表の第三線上「ミ」 (「ミ」も含む) 以上に記譜され、音符付近 (直上の場合が多い) に、「dim」または、「dim7」と付加しています。